

平成30年度事業報告書

30年1月1日から30年12月31日まで

特定非営利活動法人 SPORTS PRODUCE 熊野

1 事業の成果

特定非営利活動に係る事業の成果

<p>●第12回 白浜エアポートクリテリウム 平成30年3月18日開催。旧南紀白浜空港跡地を使用して行うクリテリウムのレース。使用していない空港の有効利用を目的として始めたレース。 ■参加選手・・・●チーム対抗ママチャリ耐久レース 63チーム(310人) ●キックバイクスクール 13人 ●ロードバイク 32人</p> <p>●第20回 TOUR de 熊野 平成30年5月31日から6月3日の4日間、新宮市(和歌山県)、熊野市・御浜町(三重県)、太地町(和歌山県)の三会場で実施されたUCI(国際自転車競技連合)公認の国際自転車レースの開催。 ■参加選手・・・●UCIレース 19チーム(109人) ●実業団レース 約102人 ■チーム関係者 60名 ■競技審判・・・50人 ■地元ボランティア 1,540名 ■マスコミ関係者 30名</p>
<p>●第13回 那智勝浦町熊野古道ヒルクライム 平成30年11月4日開催。 世界遺産登録を記念して始まった自転車のヒルクライムレース。 熊野古道沿いの公道・林道を使用して行う一般サイクリストのレース。 ■参加選手・・・305名</p>
<p>●第1回 紀南シーサイドグルメツアー 平成30年11月24日開催。 紀宝町、御浜町、熊野市、新宮市に配置された複数のチェックポイントを好きなルートで走ってポイントを巡る、ショートからロングまで楽しめるサイクリング。 チェックポイント内に設定されたエイドステーションの食べ物を楽しみながら、自分の体力やレベルに合わせて自由に走行出来る。 ■参加選手・・・109名</p>
<p><成果>上記の自転車イベントを通じて ○大会参加選手・審判・関係者の来訪による交流人口の増加と宿泊に伴う経済的効果をもたらしている。 ○大会運営に関する看板製作・運送等地元業者活用による活性化への貢献。 ○情報発信の素材となり熊野地域を全国にアピール出来た。 ○環境にやさしい自転車を通じて環境保全・エコ意識を再認識させる。 ○地域の人々に“本当の本物”を間近で見てもらい感動していただいた。 ○毎年続けることでリピーターが増えてきている。</p>

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
自転車イベントの開催	「第12回 白浜エアポートクリテリウム」大会の実施	平成30年3月18日	和歌山県白浜町	60名	一般355	2,138
自転車イベントの開催	「第20回 TOUR de 熊野」大会の開催	平成30年5月31日～6月	和歌山県三重県	1,680名	プロ及び実業団選手211名	35,586
自転車イベントの開催	「第13回 那智勝浦町熊野古道ヒルクライム」大会の実施	平成30年11月4日	和歌山県那智勝浦町	80名	一般選手305名	2,461
自転車イベントの開催	「紀南シーサイドグルメツアー」大会の開催	平成30年11月24日	和歌山県三重県	50名	一般参加109名	919
					合計	41,104